



高花平だより

2018. 1. 12
第 19 号

四日市市立高花平小学校



「さあやるぞ！」と新年スタート

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
厳しい寒さの年明けとなりました。始業式を行った体育館も底冷えのする寒さでした。
始業式では以下のような話をしました。

「年が新しくなるということは、新しい年に希望や夢、目標を持って、新しい気持ちで出発することができるということです。去年までよかった人は、『今年もやるぞ！』『もっといい年にするぞ！』と自分を励まし、去年よくなかった人は、『今年こそはよい年にするぞ！』と自分を励ましてがんばりましょう。

やれること、できることはたくさんあります。たとえば、『野球をやっている人なら』毎日素振りを100回する』『なわとびの二重とび連続10回をめざして毎日練習する』『朝は家の人に起こしてもらわずに自分で起きる』『おはよう、おやすみなさい、ありがとうなどの挨拶をきちんとする』『好き嫌いをなく食べる』『毎日玄関のくつを揃える』『人に親切にする』『1日10ページ本を読む』など、心がけ次第ですぐにできることはたくさんあります。『今日はこれができた』『これができるようになった』と言える毎日が続いたら、どんなに素晴らしい自分になるでしょう。

また、3学期は決意を新たにするとともに、今の学年のまとめをするときでもあります。新しいことも勉強しますが、1・2学期に学んだことをもう一度おさらいをして、次の学年になる準備をするのが3学期です。3学期はいちばん短い学期です。学校へ来る日は54日しかありません。6年生は52日です。1日1日を『これができた』『これをがんばった』という毎日にしないとあっという間に終わってしまいます。いい3学期にしましょう。」

ぴんと張りつめた空気の中で～新年試筆～

1月11日(木)、ぴんと張り詰めた緊張感と落ち着いた雰囲気
の漂う教室。新年らしい雰囲気のなかで新年試筆を行いました。
1・2年は硬筆、3～6年は毛筆です。お題は、1年「ともだち」
2年「お手紙」3年「正月」4年「天空」5年「出発」6年「希望」。
どの子も心をこめていいねいに書いていました。

作品は、1月18日(木)～1月22日(月)に校内書写展として校内の廊下掲示板に展示します。ぜひ、ご覧になってください。



掃除で心も磨く～

掃除の後、校舎内を歩くと、廊下に雑巾がけのあとがきれいに残っています。そのような廊下を歩くとたいへん清々しい気分になります。しかし、子どもたちは大変です。寒い中で冷たい水で雑巾をしぼり、水拭きをするわけですから。でも、子どもたちの顔はなぜか輝いて見えます。廊下とともに子ども自身の心も磨かれているからでしょうか。もちろん先生の指導あつてのことです。先生たちもたくさんの掃除場所を回りながら掃除の指導をしています。